

# 2017 SGH通信

【1年生配布用】

No.14 岐阜県立大垣北高等学校 SGH 推進部

## 5領域の「グループ研究」を開始します

いよいよ1年生の「SGH 課題研究1」も核心部分のグループによる研究推進の時期がやってきました。11月11日から日本語論文完成に至るプログラム（計12時間）を開始します。完成型は、「1,500字の日本語論文」です。まず字数ですが、前期の日本語エッセイが1,000字程度でしたので、その1.5倍、つまりA4サイズ用の紙2枚弱分です。それほど多くない字数ですが、問題は、「エッセイ」ではなく「論文」であることです。つまり、自らの主張・立場を、根拠を示しつつ論理的に展開して結論に導くという形式にのっとる必要があります。「エッセイ」(※1)から「論文」に脱皮を図れるか否かが大きな課題になります。

(※1) エッセイ【essay】 1 自由な形式で意見・感想などを述べた散文。随筆。随想。

2 特定の主題について述べる試論。小論文。論説。

日・曜日	タイトル	内 容	場 所
11/10 (金)	グループ課題設定	論文の全体像「論文の構成と内容」 / 研究テーマの設定準備	ゼミナール室
	研究計画書作成	研究テーマ決定・リサーチクエストの設定	各教室
11/17 (金)	論文作成講座①	論文のアウトラインと研究計画の作成	ゼミナール室
	調査・研究活動	リサーチクエストに対応した調査・研究★	PC教室①②
11/21 (火)	調査・研究活動	リサーチクエストに対応した調査・研究★ 論文等講読	PC教室①②
12/1 (金)	調査・研究活動 インタビュー準備	リサーチクエストに対応した調査・研究★ 論文等講読	PC教室①②
12/8 (金)	日本人大学院生へのインタビュー	岐阜・滋賀大学等に在籍する日本人大学院生を招聘 ◆各グループのリサーチクエストに対するアドバイス ◆各グループの研究手法や視点に対するアドバイス	各教室 等
	調査・研究活動	前時のアドバイスを勘案し、リサーチクエストの練り直し → 調査・研究の継続★	PC教室①②
12/15 (金)	論文ファイルの作成 グループ内の交流	◆論文フォーマットの作成 ◆リサーチクエストに対するアプローチ★状況を情報交換し、有用な情報を共有化して論文に生かす工夫を行う。	PC教室①②
	日本語論文作成	収集した情報に基づき論文作成	
12/22 (金)	日本語論文作成	収集した情報に基づき論文作成	PC教室①②
1/19 (金)	日本語論文作成	収集した情報に基づき論文作成	PC教室①②
		論文の完成（1,500字）	PC教室①②

## 5領域毎の研究課題（タイトル）を発表します

下の図は、後期の研究イメージです。この図の意図は、全員が国際開発の発想に立って研究を進めて欲しいという思いから作りました。すなわち、「国際開発」の目的である【Human Development（人間開発）】のために研究をして欲しいという思いです。日本人のためだけでなく、アジアの人のためだけでなく、世界中の人々が、しかも今生きている我々だけでなく、私たちの子孫を含めた Human Development（人間開発）の方法を研究し、その成果を提言・発信し、そして行動を起こして欲しいと願っています。まずは、私たちがアジアの人々と視線を共有することから真の研究は始まります。

### 【1年生後期の課題研究推進イメージ】

【国際開発分野】（これまでの学習）	⇒【国際開発】 国際開発課題の本質を学び、国際貢献の在り方を研究
○国際開発課題の存在	⇒【国際ビジネス】 地元企業の海外経営戦略やビジネス分野での貢献の在り方を研究
○MDGsからSDGsへの移行	
○国際機関等のアクターの働き	⇒【環境エネルギー】 エネルギー確保・水環境確保等の方法・貢献の在り方を研究
○政治・経済・文化・社会の融合	⇒【国際医療】 医療環境の実態と国際貢献の在り方を研究
	⇒【比較教育】 教育実態・教育課題の調査と貢献の在り方を研究

さて、上記文章の下線部分を一言で表現するのに適した言葉はなんですか？それが、国連が定めた「ミレニアム開発目標(MDGs)」「持続可能な開発目標(SDGs)」の基底をなしている「持続可能な開発」なのです。そこで、1年生後期の研究テーマは、領域ごとに以下のように定めます。

### 【研究テーマ一覧】

5 領 域	研 究 テ ー マ
国際開発	アジアの持続可能性に資する「国際開発」の研究 —○○○○○○○○—
国際ビジネス	アジアの持続可能性に資する「国際ビジネス」の研究 —○○○○○○○○—
環境エネルギー	アジアの持続可能性に資する「環境エネルギー」の研究 —○○○○○○○○—
国際医療	アジアの持続可能性に資する「国際医療」の研究 —○○○○○○○○—
比較教育	アジアの持続可能性に資する「比較教育」の研究 —○○○○○○○○—

本日のSGH1時間目でのオリエンテーション終了後、2時間目からはグループ研究に入ります。この時間に行ってもらいたいことは2つあります。

1つ目に、それぞれが選択した領域で、どんな研究がしたいのかを各自が語ってください。その上で、皆が満足するような○○○○の部分を考え、決定してください。

（例：カンボジアにおける初等教育の就学率向上のために）

2つ目に、リサーチクエストの設定です。どのようにすれば良いかは、国語科の先生方からのレッスンの中で十分に習得をしてグループ活動に移ってください。



素晴らしい研究成果を心待ちにしています。